

NSCAジャパン 理学療法士向け特別セミナー

「スペシャリストとしてパフォーマンスを支える」

2018年11月25日(日)

時間	13:00～18:25 (12:30～受付)			
会場	早稲田大学 東伏見キャンパス 79号館 2階205号室 (東京都西東京市東伏見3-4-1)			
内容	<p>【講義】13:00-14:00 講師:橋内 基純 プロ野球におけるストレングス&コンディショニングの取り組み ～ピリオダイゼーションを基にした段階的アプローチ～</p> <p>【講義】14:10-15:10 講師:塩多 雅矢 S&Cコーチと理学療法士の両方の立場を経験して ～両者を経験して感じた一人現場に必要な知識</p> <p>【講義】15:20-16:20 講師:真木 伸一 スポーツ現場における理学療法士の取り組み</p> <p>【講義】16:30-17:30 講師:相澤 純也 急性期スポーツ理学療法からS&Cへ ～再受傷予防、スポーツ復帰、パフォーマンス向上のための多職種連携</p> <p>【パネルディスカッション】17:40-18:25 座長:相澤 純也 スポーツ医科学チームとしての専門職間の連携</p>			
講師	 橋内 基純 Ph.D.,CSCS 東京ヤクルトスワローズ	 塩多 雅矢 理学療法士,CSCS 部活体塾代表(高校野球等のS&Cコーチ)	 真木 伸一 理学療法士,CSCS Re-Vive代表, 明治大学ラグビー部	 相澤 純也 Ph.D.,理学療法士,CSCS 東京医科歯科大学医学部附属病院スポーツ医学診療センター 理学療法技師長・アスレティックリハビリテーション部門長
受講料	NSCA会員:5,400円 一般:8,100円			
定員	200名 (定員に達し次第締め切ります)			
キャンセルポリシー	開催1週間前までにご入金がない場合、受付をキャンセルとさせていただきます。開催1週間前を過ぎますと、キャンセルチャージとして受講料の100%を申し受けます。			
CEU	0.5(カテゴリーA)			

【講義】13:00-14:00 講師:橋内 基純

プロ野球におけるストレングス&コンディショニングの取り組み ～ピリオダイゼーションを基にした段階的アプローチ～

年間試合数の増加や酷暑下での試合など、プロ野球選手を取り巻くプレー環境は日々変化を遂げており、コンディショニングの重要性は年々高まりを見せています。その上で、チームパフォーマンスの向上、障害予防の観点からも、長期的視点に立ったストレングス&コンディショニングの実践が求められます。本セミナーでは、ピリオダイゼーションを基に、プロ野球における取り組みやレベルに応じた漸増的負荷向上の進め方など、実践例を交えてご紹介します。

【講義】14:10-15:10 講師:塩多 雅矢

S&Cコーチと理学療法士の両方の立場を経験して ～両者を経験して感じた一人現場に必要な知識

高校野球のS&Cコーチとして指導をスタートしましたが、傷害予防を掲げるS&Cコーチとして働く中で怪我の知識の少なさを実感し、また治療を知ることが予防につながると感じ、理学療法士の資格を取得して整形外科クリニックで勤務しました。スポーツ現場と反対の立場で選手と接したことで、スポーツ現場での立ち回りも変化しました。現在は高校野球や大学女子ラクロスなど複数のスポーツ現場で活動していますが、両者の立場を経験した上で感じることをお伝えしたいと思います。特にスポーツ現場では一人であることが多いので、そこで立ち回るために必要だと感じていることもお伝えします。

【講義】15:20-16:20 講師:真木 伸一

スポーツ現場における理学療法士の取り組み

理学療法士という立場の職域が確立されているスポーツ現場は多くありません。演者が日頃活動する現場では、理学療法士、AT、S&C、コーチがそれぞれの役割を持ち、組織として機能しています。本講演では、演者の経験から理学療法士としての立場を現場で確立するに至った経緯を述べ、その役割を果たすために必要な能力、機能的な職種間連携について考えてみたいと思います。本講演が、現場での活動を望む理学療法士の方々にとって、少しでも参考になれば幸いです。

【講義】16:30-17:30 講師:相澤 純也

急性期スポーツ理学療法からS&Cへ

～再受傷予防、スポーツ復帰、パフォーマンス向上のための多職種連携

当部門は2012年に医学部附属病院内に開設され、2014年からは既存のスポーツ医学・歯学部門、新たなスポーツ科学・アスレティックトレーニング部門とともにスポーツサイエンス機構の一翼を担っています。機構には理学療法士、アスレティックトレーナー、スポーツドクター、スポーツデンティスト、オリンピック、メンタルヘルス専門職、事務補佐員が所属しており、うち複数名がCSCS/NSCA-CPTを保有しています。本セミナーでは、受傷・術後急性期からスポーツ復帰までの多職種連携による学内外アスリート支援についてご紹介し、特にS&Cの重要性について皆様と議論をさせて頂きたいと思います。

【パネルディスカッション】17:40-18:25 座長:相澤 純也

スポーツ医科学チームとしての専門職間の連携

本ディスカッションでは「スポーツ医科学チーム」「専門職間の連携」「傷害予防」「傷害からの復帰」といったキーワードについて議論します。普段現場で疑問に思っていること、また悩んでいること、講師に聞いてみたいことなど、参加者の方々からの積極的な質疑をお待ちしています。